

模造品対策導入ガイド

データ作成機関	知的財産保護フォーラム
データ公開日(判れば)／更新日	2005年
主な項目	模倣品・海賊版発見から解決へ 模倣品・海賊版の監視と予防
サブ項目	STEP1: 模倣品発見の状況 STEP2: 被害状況確認の必要性・ポイント◆模倣の態様は? ◆製造・流通経路は? ◆被害の深刻度は? STEP3: 権利確認◆権利取得状況と関連法等 STEP4: 対策実施◆対処手段の例紹介 継続監視: 再犯防止のために 模倣被害予防のために: 被害予防のための情報収集◆日本◆海外、模倣品対策の体制◆担当部門・部署◆対策費用
特記事項(同ホームページから転載)	「侵害されている権利の種類(特許、実用新案、商標、意匠、著作権など)や、製造あるいは流通に関わっている国・地域など、さまざまな要素が複雑に絡み合っており、その態様に合わせた対策が必要です。もし、自社製品の模倣品・海賊版が発見されたらどういった対応が必要となるでしょうか? また、知的財産権侵害品の被害予防のために講じるべき対策はどのようなものがあるでしょうか? ここでは、模倣品・海賊版問題に関するアンケートのデータを取り上げながら、模倣品・海賊版発見から解決までの道のりをフロー形式でご案内するとともに、実際に被害に遭われた企業の対応事例をご紹介します。
URL	http://www.iippf.jp/02/03.html